

平成30年度

事業計画書
予算計画書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

平成30年6月5日

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会

事業計画

循環型社会の構築を目指し、行政・消費者・産業界が緊密な連携のもとに3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）活動を推進するため、以下の事業を実施する。

1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の実施

3R活動に率先して取り組み、継続的な活動を通じて顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施する。

協議会会員及び地方自治体等の推薦機関を通じて候補を募集し、有識者等による審査委員会において受賞者を選定する。結果は冊子やホームページ等で公開するとともに、記者クラブや報道機関へ広報する。表彰式は10月の3R推進月間に合わせて挙げる（10月30日予定）。

賞の種類は、内閣総理大臣賞、財務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞及びリデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞を予定する。内閣総理大臣賞及び大臣賞は「個人・グループ・学校」及び「事業所・地方公共団体等」の2分野について賞を設ける。

なお、募集及び審査に十分な期間を取るために、次年度の表彰を実施する前提で本年度から大臣賞交付申請等の作業を開始する。

また、応募案件の拡大、受賞者の活動内容の効果的な普及啓発を図るための方策について、審査委員会にて検討を行う。

<平成30年度 表彰に関する主要スケジュール（実績及び予定）>

（平成30年）

1月中旬	推薦募集開始（推薦機関への案内、ホームページ等で紹介）
1月末	各省後援・大臣賞交付申請
4月20日	推薦募集締切
5月～8月	審査（書面審査、審査委員会（2回））
10月26日	結果発表（14時解禁）
10月30日	表彰式
12月	次年度に向けての検討（審査委員会）

（平成31年）

1月中旬	次年度推薦募集開始
1月末	次年度各省後援・大臣賞交付申請

2. リデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークの普及・利用促進

企業・地方自治体・市民団体・業界団体・学校等の要請に応じて、3R実践活動や啓発・教育活動の場でリデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークを広く使用していただくことにより、3R意識の醸成や啓発を図る。キャンペーンマークの使用事例はホームページで公開する。

また、功労者等表彰などの場を活用して、キャンペーンマークの認知度向上を図り、3Rに積極的に取り組む企業・グループ・団体等での活用を促進すると共にその関係団体・企業・市民等の目に触れる機会を増やす。

平成28年度から全国の市区町村に3RキャンペーンマークをPRする試みを行っているが、本年度も引き続き行い、市区町村における使用を促す。

3. 3R関連団体への後援等

会員団体や3R関連団体などの活動への後援等を積極的に行い、3Rの啓発・普及に貢献する。

4. 活動強化策の実施

協議会活動を充実させるべく、活動強化策を継続する。内容は企画運営委員会で審議の上で実施する。費用が発生する場合には、企画運営委員会の承認を得た上で「3R推進事業費」から支出する。

本年度に企画する活動強化策で次年度4月以降に費用が発生するものがある場合は、本年度の「3R推進事業費」予算の未使用額を上限として、企画運営委員会で承認を得た上で実施し、その費用計上は次年度とする。

また、「3R推進ポスターの制作・配付」については、3R推進ポスターのデザインコンテストの募集に十分な期間を取るために、次年度も行うことを企画運営委員会で承認を得た上で本年度から募集案内の送付等の作業を開始する。次年度の募集に係る費用は本年度の募集にかかった額を目途に上限として、その費用計上は次年度とする。

1) 企画運営委員会

前年度に引き続き、協議会活動を充実させるべく活動強化策の具体的な内容の検討や意見交換を行い、予算等を勘案の上で実施する。

また、平成29年12月から行っている3R推進功労者等表彰の応募数増加策についての検討も継続して行う。

2) 3R連絡会

行政、会員団体、その会員企業を対象を限定した情報提供の場とし、広範な3R動向の把握、交流を図る。テーマにおいては、法改正などの国内の動向、欧州委員会やSDGsなど世界の動向と幅広い視点で情報を得られる場を構築していく。

3) 優秀3R推進活動発表会

前年度の3R推進功労者等表彰の大臣賞受賞者（ただし、日中は授業等に影響を与える

可能性が高い学校と個別ケースが多い工事現場のものは基本的に除く)に、受賞の取組や受賞後の発展について発表していただき、行政所管、産業分野を越えて広く共有化、普及啓発を図る(平成30年度総会後開催)。

4) 3R推進ポスターの制作・配布

工場、工事現場、オフィス、流通などのビジネス現場や公共の場において事業者により3R活動の推進を訴求する「3R推進ポスター」を制作し、10月の3R推進月間に合わせて、会員団体、関係省庁、都道府県など主な地方公共団体に配付する。

ポスターのデザインは、デザインコンテストを開催し、選考会で最優秀作品に選ばれたものを使用する。3R推進ポスターのデザイン公募、配布時には当協議会の会員団体、関係省庁だけでなく、3R関連団体に協力を呼びかけて広報に努め、利用促進に努める。

コンテストには専門学校・工業高校など、これからの社会を担う学生からも一定数の応募があり、これらの学校のカリキュラムに活用してもらえるようにする等の更なる活用を検討する。

5) 3R関連の機関や団体等とのイベント協業

3R関連の機関や団体との協業を積極的に行い、より広範な3Rの情報提供に努める。

6) 優れた3R活動事例の普及啓発(3R推進功労者等表彰受賞者の活動広報)

昨年度実施したフォローアップ調査(対象年度:平成17~26年度)の結果について、広報する方法を検討する。

7) ホームページによる情報発信の強化

昨年度、ホームページのリニューアルを行ったので、本年度は、これらの更なる充実化とPRに努める。

また、トップ画面の「お知らせ」欄では、協議会や会員団体の情報だけでなく、3Rに關係する情報も積極的に取り上げていき、協議会と会員団体のPRの場としてだけでなく、3Rの情報サイトとしての魅力を上げていく。

8) 3R推進協議会事業活動の広報強化

3R推進功労者等表彰は、推薦応募件数が漸減傾向であるため、受賞取組だけでなく、表彰制度そのものの認知度をさらに高め、応募の掘り起こしをするための広報を行う。

また、シェアリングなどこれまで直接3Rと関わりがなかった形態の業界に対しても、今後関係が見込めれば、協議会への参画を促すと共に、3Rのひとつの考え方として紹介していく。

2年後に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、そのレガシーとして「持続可能な資源利用の実現」が謳われ、3Rにも注目が集まることが想定されるため、開催に向けた期間をひとつの好機として捉え、3Rの啓発を行っていく。

以上

予算計画

平成 30 年度 収支予算書

自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位：千円)

科 目	金 額	備 考
I 収入の部		
1. 会費収入	4,370	(平成 29 年度 3 月末) 退会 1 団体
2. 前期繰越収支差額	3,522	平成 29 年度期末残高
当期収入合計 (A)	7,892	
II 支出の部		
1. リデュース・リユース・ リサイクル推進功労者等 表彰事業の実施	3,500	表彰式会場費及び運営費、審査委員会 関係費、推薦要領・表彰結果冊子印刷 費・発送費用、審査結果送付費用、表 彰状等作成費等
2. 3R キャンペーンマークの 普及	50	P R 等費用
3. 企画運営委員会経費	0	交通費等は、各委員又はその所属団 体が負担
4. 3 R 推進事業費 (活動強化策実施のための費用) ・ホームページ関連費 ・優秀 3 R 推進活動発表会 ・3 R 推進ポスター制作 ・表彰受賞者のその後の活動 フォローアップ、等	1,000	ホームページ関連費は、サーバーレン タル費用、ドメイン名使用料等
5. その他経費	50	理事会・総会開催費等
6. 事務局経費	0	上記 1～5 に係る事務局経費。 実際に発生する事務局経費は、協議の 結果、産業環境管理協会が負担する(人 件費及び事務局運営諸費用)
7. 管理費	150	消耗品購入、封筒印刷費、事務通信費、 振込手数料等(直接事務に係る費用の み。事務局運営諸費用を除く。)
当期支出合計 (B)	4,750	
当期収支差額 (A) - (B)	3,142	当期繰越予定額